

第4回 千年希望の丘植樹祭

2016

～1万2千人が10万本を植樹～

5月28日、東日本大震災で被災した長谷釜地区（早股字前川地内）を会場に、今回で4回目となる植樹祭が開催され、全国から1万2千人が参加して10万本の苗木を植えました。

開会に先立ち、イオン株式会社から市に苗木4千本と飲料水1万本が寄贈されました。開会式では菊地市長が「たくさんさんの参加を頂いてとてもうれしい。これまで15万本を植えましたので、今回の10万本を足すと25万本になります。植樹は来年でほぼ完了しますが、その後の木を育てる育樹活動にも協力をお願いします」と話しました。



岩沼係長



▲親子で楽しく植樹

今年も友好都市・山形県尾花沢市から1000人を超す参加がありました。



▲尾花沢市の皆さん



▲午前中、学生や自衛隊の協力で南側の勾配が急な部分に植えました



▲今年もイオン(株)から苗木と飲料水の贈呈がありました

千年希望の丘全体構想図（平成29年度までに15基全てを完成させる予定です）



今回の植樹祭は、岩沼市と「森の長城プロジェクト」、「森の防潮堤協会」、「千年希望の丘協会」で組織する千年希望の丘植樹祭実行委員会の主催によるもので、長谷釜地区に築いた3つの丘をつなぐ約1.7kmの園路に10万本の苗木を植えるという、全国でも最大規模の植樹活動になりました。

開会式終了後、参加者が移動し始めると、園路の上に長い行列ができました。それぞれの持ち場に到着し、植樹リーダーの指導で、植樹を開始。小さな子どもを連れた家族などが、力を合わせて苗木を植えていました。



▲今回は21種類の樹木の苗木を植えました

会場にはわらで作った巨大なゴリラが出現し、羊のたまちゃん・うらちゃんの毛刈りなども開催されて、たくさんの家族連れで賑わいました。



地元の小中学生もたくさん参加していました。